

# 和良の郷だより

青梅号

和良おこし  
協議会発行



## 身近な野草を美味しく調理

5月7日(土曜日)、身近にある野草を摘み取り、参加者全員で野草ランチを作るイベントを開催しました。

# 野草姉さんと野草ランチ



(ニホンタンポポについて説明を受ける参加者達)

この日の講師には野草姉さんと松原章子さんをお迎えしました。参加者のなかには野草やハーブに興味のある方も多く、これまでにそういったイベントにも参加されたことがある方も多かったです。スタッフ紹介と参加者

なかなかの目的の場所には進みません。いよいよ山道に入ると、すぐにいろいろな野草が目に入ります。和良に住んでいるスタッフも名前を知らない野草も多いです。また、名前を知っている

の自己紹介が終わると、野草姉さんから注意事項などを聞き、いよいよフィールドに出発です。当施設の「わらおこし」を出ると既にそこには食べられる無数の野草が広がっています。野草姉さんの説明が始まると参加者はメモをとったり、質問が飛び交うなどして



(山道で野草を探す姿)



(野草を一生懸命調理する姿)

も美味しく食べられることを知らないクサもあります。

「ヒメオドリコソウ」、「カキドオシ」、「フジ」、「オオバコ」、「ヨメナ」、「スイバ」、「ユキノシタ」、「スギナ」、「ヤエムグラ」、「チドメグサ」、「ミツバ」、「カラスナ」、「イノコツチ」、「ヨモギ」、「ヤエカンゾウ」、「ヒメジョオン」、「ニホンタンポポ」などを採取しました。摘むときには、野草姉さんから一言エピソードや、

よく似た植物で注意をするもの、毒性のものなどのレクチャーもあります。

さて、そうやって摘んだ野草を持ち帰り、きれいに洗って調理します。この日のメニューは「みんな大好きスギナのチヂミ」、「野草の白和え」、「野草の炒め物」、「野草サラダ」、「野草味噌」、「フジの酢の物」、「野草のお味噌汁」、「野草茶」、「野草混ぜご飯」と予定

以上に多くの料理が出来上がりました。それに和良のお米「奥美濃清流米」をたっぷり炊いたので、野草味噌で何杯も食べられます。それでも残ったご飯はおにぎりにして参加者もスタッフも持ち帰りまし



(野草ランチ、いただきます！)



## ちんちろ屋

### 20周年!!

道の駅和良に併設する和良の名物、おみやげ物、地元野菜を販売する「ちんちろ屋」さんが創業20年を迎えました。それを機に5月3日から5日まで道の駅和良で20周年祭が開催されました。

応援出店として和良點を守る会、いそばん、西和良の手作りソーセイシ、はしもトマト、あつこの森、ウイングハウス、Walate、鼻笛 Club がお店を出しました。また、4日には「郡上陣屋組」による和太鼓の演奏と太鼓の演奏体験が行われ、道の駅にいられたお客さんが楽しむ様子が見られました。



(和良點をガブリ)



(にぎわう様子)

# カワゲラ いたよっ!



カワゲラ、ヒラタカゲロウ、がいむし(トビケラの幼虫)、沢蟹を見つけてました。探している最中に、はさこ(オオサンショウウオ)も石の間から顔を出してくれました。

和良川にはカワゲラやヒラタカゲロウが生息していますが、実はそれらは水質の綺麗なところでしか生息することができない貴重な生物です。川でのカワゲラウオッチングを終えて、教室に戻り、振り返りとして池戸会長よりそんなお話がありました。お話の後には「聞いた話をお家に帰って自慢したい」、「きれいな和良川を大切にしたい」などの感想が聞かれました。

# ギルドハウス 調べていますか?



「調べていますか?」という問いに「まだ楽しく暮らしているよ」と返ってきた。3年以上かけて全国のゲストハウスなどをまわるなかで「働かなくても、世間と隔绝されることなく縁が広がる生活によって、死ぬまで楽しく暮らしていきたい。」という想いにたどり着いたのが「ギルドハウス十日町」です。

5月20日(金曜日)、新潟県十日町市にある「ギルドハウス十日町」を視察、滞在してきました。ここは築百年以上の古民家で、オーナーの西村治久さん(ハルさん)が「住み開き」をしていて、これまでに85人が暮らし、国内外から年間約3,000人が訪問しているそうです。ハルさんは「ソーシャルな隠居」をしていると話します。3年以上かけて全国のゲストハウスなどをまわるなかで「働かなくても、世間と隔绝されることなく縁が広がる生活によって、死ぬまで楽しく暮らしていきたい。」という想いにたどり着いたのが「ギルドハウス十日町」です。ここでは基本的に共同生活であり、住民が生活費を出し合っており、宿でもなく事業でもありません。ギルドハウス十日町は実に不思議な魅力のある空間で、一度滞在した人、暮した人が再びここに帰ってくる人が多いこともなんとなく理解します。また、これまで悩んだ若者から高齢者まで多種多様な人を受け入れてきたそうです。和良おこし協議会が進める移住促進事業においても、地域の人々が楽しく暮らせるように、支え合うように暮らせるような集落でありたいと改めて思いました。

# 大人になれない子どもの日 音楽会開催!!



4月29日(金曜日・祝)、毎年恒例となっている「大人になれない子どもの日音楽会」を開催しました。今年も富安秀行さんが、楽しい仲間たちを引き連れてやって来てくれました。出演は下呂市で活躍している「GOO連帯」のみなさん、長野県からは中島裕志さん、福井県からは「MWF(グズミ・ウィズ・フォーキー)」の2人、そしていつもユーフオーアムなどの金管楽器を持ってきてくれる照喜名俊典さんでした。スタートは中島裕志さん。オートハーブをかかえて歌うオートルドアメリカンフォークは、何か心があらわれるような、そんな心地よさがありました。次にMWFの

演奏には参加者も出演者もすっかり「カニ女」の歌に持っていかれた感じでした。つづくGOO連帯には、5人の演奏とおじさん達のハーモニーが迫力の演奏でした。休憩と換気のと、いよいよ富安秀行さんと照喜名俊典さん。さすがに安定のコンビネーションで楽しく納得の演奏を聴かせていただきました。最後は全員でのシンクアウト。これも音楽をやっている人達の気持ちがあった演奏に圧巻です。アンコール曲にはやはり「新田舎生活物語〜良い塩梅の田舎で暮らそう〜」で締めとなりました。

## イベント掲示板

### ゲンジボタル探検隊

6/17金

静かな夜の川辺に  
広がる光の乱舞を  
みに来ませんか?

お一人様 2,000円

2022.6.25(Sat) 19:30 start

MusicCharge 投げ銭, Drink 持ち込み可

## きよふみ

Kiyofumi Live!

OA: 月の園

【きよふみ プロフィール】

1964年生れ、岡山県玉野市出身のミュージシャン。圧倒的な歌唱力とギターテクニックで、聴く人を魅了します。現在、精力的に全国に向かってツアーを展開中。「また和良に帰って来るよ!」の言葉どおり

## 和良町の人口

令和4年5月1日現在 (カッコ内は前月比)

人口	男性	女性	世帯数
1,587人 (+1)	775人 (±0)	812人 (+1)	681世帯 (+2)